



〈流山－H〉 nagareyama!-IH

「小さな3階建ての住宅」

3階建ての住宅では上下階の環境の差が大きくなり、上下の移動がシークエンスを支配してしまう。

「ラテアートのような2つの空間の行き来」

各階に2つの異なる空間の質（A,B）を用意する。

A→B→A、B→A→B、・・・空間の体験は細かく交互に織りなし、繰り返されることで、全体を通して流れるような連続的なシークエンスが展開される。

所在地：千葉県流山市

用途：専用住宅

規模：地上3階

構造：木造

敷地面積：84.34㎡

建築面積：42.14㎡

延床面積：99.40㎡



2階リビング 連窓とトップライトにより、北側に開いた明るい空間となっている



2階リビング 「白」と「茶」の2つの空間を体験することで広がりを感じる



1階寝室 隣地からの視線をコントロールしつつ、明るさを確保している



1階寝室



1階から3階までの吹き抜け



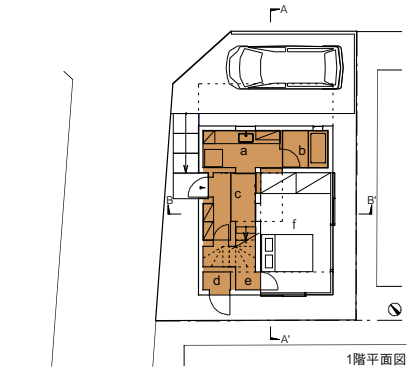
2階キッチン



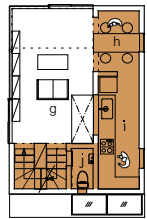
3階サンルーム



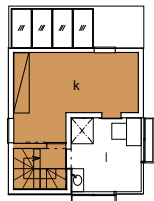
3階子供部屋



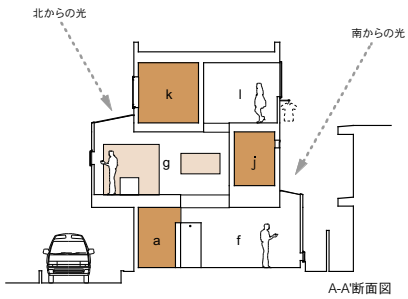
1階平面図



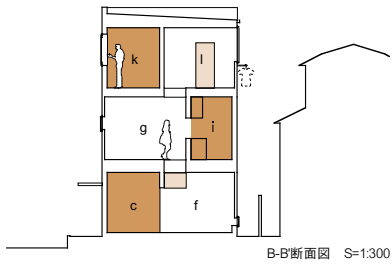
2階平面図



3階平面図 S=1:300



A-A断面図



B-B断面図 S=1:300

a：洗面・脱衣室
b：浴室
c：玄関
d：物置
e：階段下収納
f：夫婦寝室
g：リビング
h：ダイニング
i：キッチン
j：トイレ
k：子供部屋
l：サンルーム

平面では、各階にL型の空間（A）と長方形の空間（B）を用意する。階ごとにそれらの位置関係を交互に位相反転させる。

また、各階を串刺しにする吹き抜けが、ラテアートのように空間を横断する。

断面では、だるま落としのように各階をずらすことで、低層部にも直接自然光を取り入れられる。どのフロアでも自然につながるスペースが用意され、上下間の照度の差は縮まり、とぎれることなく交互の体験が繰り返される。